

異業種と連携した新製品で市場を開拓

—株式会社越智工業所—

〔取り組み分野〕

新製品の開発

新規顧客の開拓

異業種との連携



院内感染を防止する「ビッグクイックシェルターZ」



全身を除菌する「抗ウイルスミストシャワーブース」

〈取り組みの概要〉

異業種と連携した新製品で事業拡大に弾み

1. 医療現場で使い勝手の良い陰圧テントで、コロナ対策など社会課題に貢献
2. 抗ウイルスミストシャワーブースで“新たな日常”に即した新市場を開拓

株式会社越智工業所は学校・イベント用を中心に、ニーズに応じてさまざまなテントを製造しており、国内有数の販売実績を有する。

1. 医療現場の課題解決につながった陰圧テント

コロナで多くのイベントが相次いで中止となり、昨春の売上高が大きく落ち込んだ。そこで、独自開発で培ってきた技術を活用し、コロナ対策の最前線で戦う医療従事者に役立つ製品を開発できないか検討を重ねた。院内感染対策に悩む医療現場を目の当たりにし、外気圧より気圧を下げてウイルス拡散を防ぐ、陰圧テントの開発に着手した。

陰圧テントで求められる機能・性能は、気密性や内外気圧差、医療用として満たすべき基準など、これまで製造してきたテントと全く異なっていた。医療関係者と開発段階から何度も打ち合わせを重ねるとともに、日本で初めてフレームに炭素繊維を用いて軽量化を図るなど、何度も試作しては問題点を改善した。完成した「ビッグクイックシェルターZ」は、特別な機材なしで、2名いれば90秒で設営できる手軽さを実現した。

このように現場の意見に即した機能・性能を実現したことで、昨年5月の販売から累計400台以上を売り上げており、コロナのワクチン接種の会場でも使用される見込みである。

2. 今後の需要拡大が見込まれる抗ウイルステント

感染対策に対する社会全体の意識の高まりを受けて開発したのが「抗ウイルスミストシャワーブース」だ。人体に無害な薬剤のミストが充満したブースを通過するだけで、肌や衣類などに付着したウイルスを不活性化できるものである。コロナのみならず、インフルエンザやノロウイルスといった他の感染症対策にも効果が期待でき、“新たな日常”のさまざまな場面で安心・安全を提供する。

課題となったのは薬剤の選定とミストノズルの位置・角度の調整だが、薬品メーカーやノズルメーカーと連携・協力し、1つ1つ解決に導いていった。そして、自社が得意とする軽量化や組み立てやすさなど、現場での使いやすさにも配慮したことで、イベント会社などからの引き合いも多い。

自社の技術と社会課題を照らし合わせ、新しい分野に果敢に挑戦した結果、これまで取引がなかった企業からも商談が相次いでいる。

株式会社越智工業所

所在地 今治市桜井2丁目7番90号
設立 1979年11月
従業員数 25人
事業内容 テント製品などの開発・生産